

ひまわり会70才以上二人暮らしのかた

歴史に彩りを 3月3日

福祉部

桃の花、白酒なしの、おだいら様が
おられないおひな祭り、ひまわり
会の皆様がおひなさまです。

ある方のご指導でちよつと歴史に
ふれました。ひなまつりの起源は、
室町時代

にはじま
り、現在
は姿・形
を変え、
地域で流
しびなな
ど情緒を
そえてい
ます。

を



そこで昔をしのびおひなさまの歌
で盛り上がりました。

昼食会は、推進員手作りのおいし
いちらし寿司で満足でした。

“ちよつと一言”

私をおばあちゃんと呼ばないで。

「私には孫もおりますけどあなたの
おばあちゃんではありません。」

ひまわり会の皆さんの会話でした。

納得！



ミニデイ(65歳以上の方)
備えあれば憂いなし

福祉部

春日・大野城・那珂川消防本部、大
野城市身体障がい者福祉協会のご指
道により開催。災害時の応急手当の
仕方を学びました。AEDの使い方

4月24日(日) 定期総会

時間 10時～12時30分

受付は9時から

場所 南ヶ丘二区公民館 2階集会室

出席できない方は、総会資料表紙に添付
してある委任状を提出して下さい。

や防災対策などの実技を勉強。聴覚
障害の方も参加されましたので、市

の方より手
話の出前も
お願いしま
した。とて
も有意義な
講習会でし
た。災害時
には近隣住
民の協力を
得られるよ
う日頃からの関係をつくっておく事
が大切です。



南ヶ丘二区文庫より

おかげさまで大野城市地域貸出文
庫の創立30周年記念式典も無事終わ
りました。

これからも地域
の皆さまのご指導
ご協力をあおぎ、
地区の伝承行事を
大切にしながら、
活発に活動してい
きたいと思えます。



公民館が開いてる時は(月～金朝
9時から夜9時まで)いつでも本
を借りることができます。2区は、
蔵書の冊数が市内でも多いです。皆
さん 活字に親しみましょう。

資源回収にご協力を

当日は、玄関先の分か
りやすいところに、9時
までに出して下さい。

午前中に回収に伺います。

次回4月は次の様になります。

26日(火) 4・5丁目

27日(水) 3丁目

7丁目(1～7・19～21番地)

28日(木) 6丁目

7丁目(8～18番地)

※公民館が依頼して野田商店さんに
回収して頂いている時があります。

便宜のため段
ボール・雑誌
など置かせて
頂くことがあ
りますが、全
て回収いたし
ますので、な
にとぞご了承
お願いいたし
ます。



4月 行事予定

24日(日) 定期総会

28日(木) 組長会

毎週月曜 執行部会

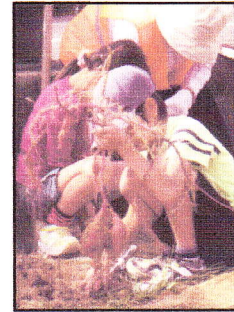


一年を振り返って

子ども会 秋の芋掘り大会



プリザーブドフラワー教室



2区 夏まつり



どんど焼

地区代表者が
がんばりました。

評議員会より

今年度の評議員会で協議してきたまとめとして、概ね次ように整理しました。

①「地域活動代表者」については、前年総会で規約改定されましたが、整合性の面について整理するよう付託を受けていました。

第六条の地域活動代表者について地域活動員とブロック員の名称を「地域活動員」に一本化すること。選出方法その他についても答申書に掲載しておりますので、後日参照ください。

従って第十三条についても「地域活動員会」に会議の区分を変更することになります。

②二十年度の評議員会が答申（二十年度南ヶ丘二区公民館だより参照）していました旧ブロック員（丁目制度）について。

二区自治会規約に規定されている丁目制度の本旨について分析。

丁目を支部として機能化することや、それに伴う支部役員の構成。

二区自治会執行部と支部体制との位置づけ及び自治会業務の分掌。

一・二区自治会と支部と、相互の会議の性格付けと会議の持ち方。

その他について縷々検討したが、関連する課題が多く未だ結論に達していません。

③これまで協議してきた内容を、区民の皆さんが検討いただけるように、総会の会場で「検討素案」として資料提供を予定しています。

以上で二十二年度の評議員会報告とさせていただきます。ありがとうございます。

2区シニアクラブより

雑感〈必要だ！地域での支え合い〉

3月11日の東北・関東大震災。発生まもなくの大津波の映像は、今も脳裏に焼きつい離れませんが。被災者のことを想うと耐えられない気持ちです。被災者への御見舞と犠牲となられた多くの御霊に謹んで哀悼の意を奉げます。

そんな中、数日経った頃から阪神淡路大震災の経験や各被災地で大混乱の中、地域被災者がしつかりした絆で声を掛け合い助け合い、人災を最小限にしたことなどが報じられました。そして、もし自分の住む土地で大震災が発生したとしたら、「君はどうする」と自問し私の意識不足に冷や水を浴びせられた感じがしました。

「災害は忘れた頃に・・・」との訓えもあります。福岡市域では、6年前に西方沖地震に見舞われたばかり。我が町のことと仮定し、検討をする必要があると意識しているところです。

我がクラブは100名程度「検討するには頃合いの仲間数かもしれない」「意識だけは高めるべし」と、頭に描きながらこの活字を並べてみました。そのためには意識を共有できる仲間、信じ合える仲間、つまり目的意識を持てるのが大事だと思います。

私たちは地域の年長者です。些かでも存在感が意識できることが生き甲斐に繋がる気がします。それには多くの知恵と力がほしい。みなさん、仲間としての力を貸して下さい。ご一報、お声掛けをお待ちしています。

池田 義治